

パン、菓子製造業におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	5~6	休憩に行く際、1Fエレベーター前でエレベーターが1Fで待機状態だったので、急いで「開」ボタンを押そうと走ってしまい、走った勢いでスリッパがもつれ、転倒した。	25~	500 999
1	16~ 17	仮詰め作業中に後ろ向きで歩いてしまい、床に置いてあったハンドリフトに気づかずにつまずいて転倒し、右手をついた際に骨折した。	59~	300 499
1	12~ 13	当社食堂内で、椅子に乗り神棚の榊の水を入れ替えようとしたところ、バランスを崩し転倒し、床に手を着いた時に左手首を負傷した。	76	30~ 49
4	13~ 14	工場入口通路にて、使用済みのダンボールを壊す作業をしている時、手では壊せなかったため足で潰そうとした時、足を滑らせ後ろに倒れそうになり、両手をついて右手首を負傷した。	59	30~ 49
7	3~4	集配業務のため、信号のある交差点を自動二輪車で直進中、対向車線で右折待機していた相手車両が右方を確認しないまま右折したため、当方自動二輪車の右側面に接触し、右足を負傷した。	64~	500 999
7	20~21	焼成工場加工室にて、マヨネーズの入ったト口箱を持ち上げようとした際、無理な体勢であったため力が入らず、手が滑ってト口箱で胸を強打した。もともと胸を痛めていたため、この事故により骨折に至った。	61~	300 499
7	13~14	工場内にて、団子の生地の入ったタライ（50kg超）を持ちあげたところ、腰と背中に痛みを感じた。	28	10~ 29
	15~	ミキサーボールを洗浄の為、台車に載せ右手で台車を押しながら左手でミキサーボールを押さえていたが、台車の車輪が床の穴にはまり、横にあった別の台車で		100

9	16	体を支えようとしたところ、転倒した。その際、ミキサーボールと台車の間に左手親指が挟まり骨折したものである。	61	～ 299
9	14～ 15	冷凍庫内で、カゴ台車を反転させる際、カゴ台車が倒れ下敷きになり足に荷重が掛かったことで骨折した、カゴ台車が倒れた原因は後輪が水平になったことと、動かす際上側を持って作業を行ったことで、「てこの原理」で反転してしまったことが原因となる。	44	100 ～ 299
9	11～ 12	ハート1F場内にて資材の運搬をしていて、死角にあったパレットにつまずき前面にたおれた、その時、右手左足と顔を打ちつけた。	50	100 ～ 299
11	11～ 12	荷下ろしをしている時にパレット上にある荷物（長辺465mm×短辺250mm×高さ183mm、重さ11.2kg、40ケース）をハンドリフトを使用して運ぶ際に、荷物を引いた時に1m下に転落し左足のみで着地した為踵骨を損傷した。	53	100 ～ 299
11	14～ 15	工場内1階サンド機で作業中、生地が入ったセイロが正常に重なっていないことに気が付き、直そうとセイロを持つようとした際に、右手人差し指をセイロと台の間に挟んでしまった。右手人差し指を亀裂骨折してしまった。	45	100 ～ 299
11	15～ 16	工場洋菓子製造2課冷凍ケーキラインにおいて、被災者が番重供給作業中、トラブルが発生したためそこを直そうとその場に向かって歩いていたところ、途中に置いてあったパレットに躓き転倒し負傷した。	49	1000 ～ 9999
12	2～3	2Fパンニング室仮置庫内で、庫内の整頓中、冷生地の入ったプラコンが積み重ねられている台車がずれていて、台車前方から番重と台車の間に手を入れて引っ張ろうとして、左手中指を挟んだ。	56	300 ～ 499
12	17～18	事業場工場内にて、パン製造成型台を手を持つ形で洗浄作業を行い、誤って手を滑らせ、成型台を足の上に落下させた。	28	30～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html